

第1学年算数科学習指導案

令和5年 11月 9日(木) 5校時
 児童 15名
 指導者 山本紀代

- 1 単元名 「どちらがひろい」
 2 単元について

本単元で育てたい資質・能力	<p>【思考力、判断力、表現力等】身の回りにあるものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値で表したりする力。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】身の回りにあるものの面積に関心を持ち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとする態度。</p>	
学習指導要領の位置づけ	知識及び技能 C(1)ア	<p>(ア)長さ、広さ、かさなどの量を、具体的な操作によって直接比べたり、他のものを用いて比べたりすること。</p> <p>(イ)身の回りにあるものの大きさを単位として、そのいくつ分かで大きさを比べること。</p>
	思考力・判断力・表現力 Cイ	(ア)身の回りのものの特徴に着目し、量の大きさの比べ方を見いだすこと。

単元構想

<p>【単元の目標】</p> <p>(1) 面積についての基礎的な意味や比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、面積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や任意単位による測定などによって、身の回りにあるものの面積を比べることができる。 【知識及び技能】</p> <p>(2) 身の回りにあるものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値で表したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(3) 身の回りにあるものの面積に関心を持ち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】</p>	
<p>【指導にあたって】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「どちらがながい」「どちらがおおい」の単元で学習したこと(直接比較、間接比較、任意単位による測定)を基に、身の回りにあるものの面積に着目し、比べ方を考え、直接比較したり、タイルなどを任意単位として用いて数値化して表したりする。 ・具体物を使った操作活動を重視し、身の回りにあるものの面積に着目し、日常生活における面積の比べ方を考えたり、比べ方を用いたりする経験を通して、日常生活の事象を測定を用いて処理することに興味を持ち算数を学ぶよさを実感できるようにする。 	<p>【児童について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の中で、感覚的に広さを比べている。 ・直接比較には慣れているものの、大きさを数値化して表すことには慣れておらず、考えが広がりづらい。 ・算数用語を正しく使って説明したり、考えを伝えたりすることを苦手としている。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 広さを具体的な操作によって直接比べたり(直接比較)、任意単位で比べたりすることができる。	① 身の回りのものの特徴に着目し、広さの比べ方を見いだしている。	① 身の回りにあるものの大きさに親しみ、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

4 指導と評価の計画（1時間）

小 単 元	時	目 標 (1) 働かせたい数学的見方・考え方 (2) 使わせたい数学的活動 (3) 育てたい数学的に考える資質・能力	活用したい言葉	評価規準		評価方法	
				知	思	態	態
1	1 本 時	(1)身の回りにあるものの面積に着目し、 (2)直接比較や任意単位による測定などを使って、 (3)ものの広さを比べることができる。	「かさねる」 「はしをあわせる」 「はみ出している」 「○○は●●よりひろい」 「かぞえる」 「タイル（ ）まいぶ ん」 「○○は●●よりタイル （ ）まいぶんひろい」	知① ・行動観察 ○ノート	思① ・発言	態① ・行動観察	態① ・行動観察

5 本時の指導（1時間目／全1時間）

(1) 目標

【働かせたい数学的見方・考え方】身の回りにあるものの面積に着目し、

【使わせたい数学的活動】直接比較や任意単位による測定などを使って、

【育てたい数学的に考える資質・能力】ものの広さを比べることができる。

(2) 対話のねらいとゴール

ねらい：身の回りにあるものの広さを、直接比較や間接比較、任意単位による測定などを使って比べることができる。

ゴール：直接比較（レジャーシート、皿）や、任意単位による比較（タイル）の方法について、比べ方を考えて説明できる。

(3) 展開

学 習 活 動		◇教師の意図的な関わり 言葉! 評価
<p>問題との対話</p> <p>5分</p>	<p>1 かんがえよう (提示) A…お皿(か)き B…レジャーシート(あ)い の絵 ○A…女の子は大きいお皿を選ぼうとしている。 ○B…男の子は(あ)と(い)のどちらのシートが広いか考えている。 ○B…男の子は広い方に入れてもらおうとしている。 ○どちらも広さを比べている。</p> <p>2 かく習課題をたてる。 ひろさのくらべかたを かんがえよう。</p>	<p>◇教科書P106上段の絵を提示し、話し合わせることで、課題をつかませる。 ◇どちらも広い方を選ぼうとしていることを押さえる。</p>
<p>自己との対話</p> <p>20分</p>	<p>3 見通しを立てて(や)ってみよう① (直接比較) ○見通し…・見た目で比べる。 ・A…大きい皿に小さい皿を重ねる。 ・B…シートをかどを合わせて重ねる。 ○自力解決 (グループ) ○答えの求め方を全体場で説明する。 A…2枚の紙皿を重ねて比べた場合の説明 B…2枚のシートを重ねて比べてみた場合の説明。 やってみよう② ((た)と(ち)のタイル) (任意単位比較) ○見通し…・高さで比べる。 ・幅で比べる。 ・タイルの数で比べる。 ○自力解決 (1人→ペアで) ○答えの求め方を全体場で説明する。 ・(た)の広さはタイル24枚分、(ち)の広さはタイル25枚分。 ・(ち)は(た)よりタイル1枚分広い。</p> <p>4 くらべよう ○やってみよう①、②の比べ方について話し合い、まとめにつなげる。 ・シートと皿は直接重ねられるから、大きさがはっきりする。「かさねるさくせん」 ・タイルは全部同じ大きさだから、数えて比べられるて違いがはっきりする。「かぞえるさくせん」</p>	<p>◇実際のシートや皿を使って比べてみることを確認してから、自力(グループ)解決させる。 ◇児童の説明の言語化を支援する。 「かさねる」 「はしをあわせる」 「はみ出している」 「○○は●●よりひろい」 ◇はみ出した方が広いことに気付かせ、どれだけ広いと言えよいか問うことで、数で表すと便利だという考えにつなげる。 ◇分かったことは、自由にワークシートに書き込ませる。 ◇並べたタイル同士は重ねられないことをおさえる。 ◇児童の説明の言語化を支援する。 「かぞえる」 「タイル()まいぶん」 「○○は●●よりタイル()まいぶんひろい」</p> <p>【関・意欲・態度】①・行動観察</p> <p>◇それぞれの比べ方のよきを出させ、任意単位で比較すると広さの違いがはっきりするという便利さに気付かせる。</p> <p>【思・判・表】①・発言</p>
<p>深める対話</p> <p>10分</p>	<p>5 まとめよう ひろさのくらべかた ・かさねてくらべる。 ・かぞえてくらべる。</p> <p>6 次時へのなびげーしょん ○適応問題に取り組む (1) 問題(1)に取り組む。(直接比較…ノート、折り紙色画用紙) (2) 問題(2)に取り組む。(任意単位比較…陣取りゲーム) ○学習感想を発表させる。 ・わかったこと・対話で役にたったこと</p>	<p>◇板書を振り返り、学びを整理する。</p> <p>◇やってみよう①の比較を想起させ、はしを合わせることで、はみ出している方が広いことを押さえる。 ◇やってみよう②の比較を想起させ、数値化を促す。 ・陣取りゲームは別時間にやっておく。</p> <p>【知・技】①・行動観察○ノート</p> <p>◇感想の記述は時間がかかる児童には、ノートに顔マークを書かせる。</p>
<p>自己との対話</p> <p>10分</p>	<p>5 まとめよう ひろさのくらべかた ・かさねてくらべる。 ・かぞえてくらべる。</p> <p>6 次時へのなびげーしょん ○適応問題に取り組む (1) 問題(1)に取り組む。(直接比較…ノート、折り紙色画用紙) (2) 問題(2)に取り組む。(任意単位比較…陣取りゲーム) ○学習感想を発表させる。 ・わかったこと・対話で役にたったこと</p>	<p>◇板書を振り返り、学びを整理する。</p> <p>◇やってみよう①の比較を想起させ、はしを合わせることで、はみ出している方が広いことを押さえる。 ◇やってみよう②の比較を想起させ、数値化を促す。 ・陣取りゲームは別時間にやっておく。</p> <p>【知・技】①・行動観察○ノート</p> <p>◇感想の記述は時間がかかる児童には、ノートに顔マークを書かせる。</p>

